

## 2 教育研究に関する事業

### (1) 目的

学校との協力による実践的研究から効果的な指導の在り方を追究し、研究成果の提供等を通して学校の教育活動を支援する。

### (2) 研究事業

#### ● 研究期間：令和5年4月～令和7年3月（令和7年度研究発表会）

研究分野	教職に関する研究
研究主題	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育ー「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にす探究的な学びを通してー
研究の内容	中央教育審議会 諮問・答申等や学習指導要領に基づき、有識者から指導・助言を受けながら、研究協力校と茨城県教育研修センター教職教育課指導主事で、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について研究する。
研究方法	年間4回の研究協議会を設定し、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について協議する。うち1回は、有識者から指導・助言を受ける。担当指導主事による年間4回程度の学校訪問を行い、授業参観、研究協議等における指導・助言により研究を推進する。

研究分野	教科に関する研究
研究主題	自立した学習者を育む学校
研究の内容 (教科)	学習指導要領の趣旨に基づき、令和の日本型学校教育の構築を目指した学びの実現に向け、多様な子供一人一人が自立した学習者として学び続けていけるよう、学校として授業改善に取り組む研究を行うことで、各学校での組織的な授業づくりの改善・充実に資する。
研究方法	各教科で校内研究（研修）の担当者と共同して、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。関係機関等との連携大学教授等、研究協力校との連携を図りながら、研究を推進する。

研究分野	特別支援教育に関する研究
研究主題	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方ー自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通してー
研究の内容	小・中・高等学校の知的、自閉症・情緒障害特別支援学級及び通級指導教室並びに知的障害特別支援学校の児童生徒に対して、自己を理解し、調整を促すための学びシートや手引き等のツールの開発・活用を通して、学びに向かう力を育むための支援の在り方について提案する。
研究方法	大学教授、研究協力員との連携を図りながら、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。各協力員による授業実践や指導主事による授業参観や研究協議を重ねながら研究を推進する。

#### ● 研究期間：令和6年4月～令和8年3月（令和8年度研究発表会）

研究分野	教育の情報化に関する研究
研究主題	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する研究
研究の内容	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する上での課題把握と、それらを解決する方策について構想する。そして、その構想に基づき、新しい時代における子供たちの学びのスタイルの実践を提案し、1人1台端末の効果的な活用について探究する。
研究方法	1年次には、研究協力員を委嘱して研究協議会4回と授業研究会1回を開催し、子供たちの学びのスタイルや新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する実態調査を行い、課題を把握する。そして、その調査結果を踏まえ、新しい時代における子供たちの学びのスタイルについて検討し、授業研究で検証する。2年次には、新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の効果的な活用について検証する。さらに、本研究の成果をまとめるとともに、その成果を広く公表する。

● 研究期間：令和7年4月～令和9年3月（令和9年度研究発表会）

研究分野	教育相談に関する研究
研究主題	安心して学べる学校
研究の内容	こども基本法や子どもの権利条約に基づき、児童生徒の声を聴き、児童生徒の声を基にした実践を通して、誰もが安心して学べる学校に向かう方法について提案する。
研究方法	年間3回の研究協議会を設定し、有識者からの指導・助言を受ける。 担当指導主事による年間3回程度の学校訪問を行い、研究協力校との連携を図りながら研究を推進する。

● 研究期間：令和7年4月～令和10年3月（令和9・10年度研究発表会）

研究分野	教科に関する研究
研究主題	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方
研究の内容	教育振興基本計画の方向性に基づき、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実について実践的研究に取り組む。
研究方法	1年次は、研究協議会を5回実施し、全教科でテーマに関する理論研究を行う。2・3年次は全教科をA班（令和8年度）、B班（令和9年度）に分け、研究主題を踏まえ教科ごとに理論研究を行うとともに研究協力員を委嘱して年5回の研究協議会を開催し、授業研究を行う。

(3) 教育研修センター研究発表会

趣 旨	茨城県教育研修センターにおける研究成果を全県の教育関係者に向けて発表し、その理解と普及を図り、本県教育の向上に資する。
主催・会場	茨城県教育研修センター
期 日	令和7年8月7日（木）、8日（金）
発表内容	教職に関する研究、教科に関する研究、特別支援教育に関する研究
参加対象	県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員、県・市町村教育委員会の職員、就学前教育を担当する教職員、県内大学の大学生・大学院生及び全国の教育関係者

### 3 研修支援に関する事業

担当：教育相談課

直通：0296-78-3219

- (1) 目的 喫緊の課題解決を必要とする学校等に対し、校内でOJTを基礎として実施する指導教諭等による研修会及び各種研修講座の受講者による成果報告等を踏まえ、指導主事等が訪問し助言を行うことにより、各学校が抱える課題の解決に寄与する。
- (2) 対象 学校、複数の学校のグループ、市町村教育委員会（以下「学校等」という。）
- (3) 訪問期間 令和7年6月2日(月) から令和8年1月30日(金) まで
- (4) 訪問者 教育研修センター指導主事、主査、茨城大学教職大学院担当教員  
※ 21の学校運営については、原則として教育研修センター指導主事等と茨城大学教職大学院担当教員の双方が訪問する。
- (5) 応募要件 以下のいずれの要件も満たす学校等からの申し込みを受け付ける。

#### 研修体制

- ア 対象分野について、年間の研修計画及びOJT等の体制が構築されている。
- イ 校内研修会の形態を基本とし、参加人数は場合によりその都度少なくとも5人以上とする。
- ウ できるだけ、市町村単位等を含め、他校との合同開催とする。なお、市町村立学校で構成する複数学校のグループは市町村教育委員会を通して申し込むこと。
- エ 指導主事等による講義のみを実施する派遣は行わない。
- オ 国・県・市町村の研究推進校や教育研究会等の研究団体の研究指定校等になっていない。
- カ 学校等は、当該研修後に、成果について振り返り、研修報告書を提出する。

#### 訪問の回数等

- ア 市町村立学校は、1分野の申込みができる。ただし、県立学校及び市町村教育委員会はこの限りではない。
- イ 1分野での訪問は、年度内2回を上限とする。そのうち1回においては研究授業等を実施する。

#### (6) 手続き等

##### 申込み

- ア 支援を希望する学校等は、様式1-1「研修計画書」を作成する。
- イ 市町村立学校は、様式1-1を市町村教育委員会へ提出する。
- ウ 複数の申し込みをする県立学校及び市町村教育委員会は、すべての申し込みについて優先順位をつける。
- エ 県立学校又は市町村教育委員会は、次のGoogleフォームに必要事項を入力し、様式1-1をアップロードした上で教育研修センターへ申し込む。  
I期申込用URL：<https://forms.gle/oGAj7KWiJEPHFbWZ7>
- ※ II期については、令和7年7月末日までに教育研修センターWebサイトに掲載する。

##### 訪問校等選定

- ア 教育研修センターは、申込みフォームや様式1-1の記載内容を基に審査を行い、訪問する学校等を決定する。
- ※ 申込状況や計画書等の内容により、要請にお応えできない場合もあることをご了解願います。
- イ 教育研修センターは、県立学校又は市町村教育委員会に、I期は令和7年4月末日まで、II期は令和7年9月末日までに通知する。
- ウ 通知後、教育研修センターは、学校等と支援内容について調整を行い、実施日時を決定する。

エ 学校等は、指導案等の資料を実施日の2週間前までに教育研修センターに提出する。

### 成果検証

学校等は、様式1-2「研修報告書」を記載し、既に提出済みの様式1-1に連結させて、令和8年2月末日までに、次のGoogleフォームから教育研修センターへ提出する。

提出用URL：<https://forms.gle/R4MKMTDrrCr8diWN7>

(7) 訪問者の旅費 教育研修センターが負担する。(予算の範囲内で支援を行う)

(8) その他 ア 申込数の状況や計画書等の内容により要請に応じられない場合もある。

イ 各分野の研修内容によって、オンラインによる研修も可能とする。

### (9) 研修支援「研修テーマ(例)」

学校及び市町村教育委員会は、1~21の各分野から選択して申し込んでください。1~21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課(0296-78-3219)までお問い合わせください。

番号	分野	研修テーマ(例)
1	国語	根拠を明確にして自分の考えを表現する力を育てる授業づくり
2	社会 地理歴史 公民	習得した知識及び技能を活用し、多角的に考える力(多面的・多角的に考察する力)を育成する授業づくり
3	算数 数学	数学的な思考力、判断力、表現力等を育む授業づくり
4	理科	問題解決の力、科学的に探究する力を育てる授業づくり
5	生活	気付きの質を高め、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する授業づくり
6	音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
7	図画工作 美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
8	家庭 技術・家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業づくり
9	体育 保健体育	豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指した授業づくり
10	外国語活動 外国語(英語)	言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくり 思考力・判断力・表現力を高めるパフォーマンステストの課題設定と評価の工夫
11	道徳	自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の在り方
12	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	探究的な見方・考え方を働かせた、横断的・総合的な学習過程の充実
13	特別活動	よりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる特別活動の在り方
14	情報教育	情報活用能力の育成(プログラミング教育、デジタル・シティズンシップ教育を含む)、ICTを活用した授業づくり、校務の情報化のためのICT活用
15	食育	各教科における食に関する指導の工夫
16	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育

番号	分野	研修テーマ (例)
17	人権教育	一人一人を大切にする人権教育の進め方
18	教育相談	生徒指導・教育相談に関する資質・能力の向上
19	特別支援教育	一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実
20	学校保健	健康づくり推進を目指す学校保健の在り方
21	学校運営	学校組織マネジメント・カリキュラムマネジメント等の実践の在り方
22	その他	※ 1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課（0296-78-3219）までお問い合わせください。

## 4 教育相談に関する事業

### (1) 目的

電話相談及び来所相談の充実を図り、不登校やいじめ、非行及び怠学、発達遅れの悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に適切に対応する。

### (2) こどもの教育相談

#### ア 相談内容

- ・不登校に関する事
- ・いじめに関する事
- ・非行や怠学に関する事
- ・子育てやしつけに関する事
- ・進路に関する事
- ・その他必要と認める事

#### イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

#### ウ 相談方法

##### 電話相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前8時30分から午後8時まで)  
土曜日(午前8時30分から午後5時まで)  
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-71-3870

##### 来所相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時から午後4時30分まで)  
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-3219(教育相談課)  
※ 電話予約の上、来所日時を決定

##### FAXでの相談

- ・受付日(時間) : 毎日(24時間)
- ・FAX番号 : 0296-71-3870

##### メールでの相談

- ・受付日(時間) : 毎日(24時間)
- ・メールアドレス : [7830@center.ibk.ed.jp](mailto:7830@center.ibk.ed.jp)

### (3) 発達が気になるこどもの教育相談

#### ア 相談内容

- ・発達が気になるこどもに関する事
- ・学習のつまずきや遅れに関する悩み
- ・その他、身体的・精神的な悩みに関する事
- ・心理的な問題で悩んでいるこどもに関する事
- ・就学や進路に関する事

#### イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

#### ウ 相談方法

##### 電話相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時30分から午後4時30分まで)  
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-2777(特別支援教育課)  
※ 電話相談に基づき、必要に応じて来所相談を行う

##### 来所相談

- ・受付日(時間) : 月曜日から金曜日まで(午前9時30分から午後4時30分まで)  
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号 : 0296-78-2777(特別支援教育課)  
※ 電話予約の上、来所日時を決定

(4) 専門医による心の健康相談

ア 相談内容

- ・専門医による指導・助言が必要と思われる相談

イ 対象

- ・来所相談の中で専門医による指導・助言が必要と思われる対象者

ウ 相談方法

- ・来所相談

(5) 外部専門家による教育相談

ア 相談内容

- ・発達障害や情緒障害等に関する諸問題
- ・言語障害等に関する諸問題

イ 対象

- ・発達が気になるこどもの教育相談において外部専門家による指導及び助言が必要と認められる幼児、児童及び生徒並びにその保護者
- ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒と関わる機会のある教職員

ウ 相談方法

- ・来所相談
- ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）

※ 電話予約の上、来所日時を決定

## 5 教育情報の収集及び提供に関する事業

本教育研修センターでは、教育研修センター内の図書情報室に資料等を収集するとともに、教材データベースに登録し、これを公開することにより教育に役立つ情報の提供に努めている。

### (1) 目的

教育に関する情報を収集し、教育機関・学校等に提供する。

### (2) 教育情報の種別と提供方法

種別	内容・提供方法
教育文献	[内 容] 研究指定校研究報告書、研究紀要等
	[提供方法] 図書情報室で閲覧、教育研修センター内貸出
学習指導案	[内 容] 県内の教員から提供された学習指導案
	[提供方法] 茨城県教育情報ネットワークの教材データベースを利用して提供 教育研修センターのWebページで一部を閲覧可能
教材・教具・素材	[内 容] 県内の教員や教育研修センターの指導主事が作成した教材・教具・素材
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研究成果	[内 容] 教育研究に関する研究報告書等
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研修資料等	[内 容] 研修講座の資料等
	[提供方法] 教育研修センターのWebページで閲覧可能

### (3) 教材データベースへのアクセス方法

茨城県教育情報ネットワーク（IEIネット）のWebページ (<https://portal.ibk.ed.jp/material-db/list>) にアクセスし、各画面に表示される説明に従って操作することで利用できる。

### (4) 図書情報室の利用時間

平日 9:00～17:00（教育研修センターの休所日を除く）

## 6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務

### (1) 業務内容

- ア 教育情報ネットワークシステムの運用、保守、管理
- イ 教育情報ネットワーク利用者のアカウント管理
- ウ 教育の情報化に係る情報提供、利用支援
- エ 各教育機関からの技術的相談窓口、技術支援

### (2) 提供する主なサービス

- ア 回線サービス  
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- イ フィルタリングサービス  
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- ウ ポータルサイト
  - ・お知らせ、文書通知
  - ・教材データベース
  - ・教育用コンテンツ
- エ Google Workspace for Education  
(Gmail、Meet、カレンダー、ドライブ、Classroom、YouTube、組織アドレス帳)
- オ Webサービス  
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- カ 県立学校合格発表サービス

## 7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期）

担当：教職教育課  
直通：0296-78-3212

令和7年度 いばらき輝く教師塾Ⅰ期

### 1 目的

教職に関心のある大学・短期大学生、高校生等に対し、教員の魅力を伝えるとともに、教員に求められる人間性や専門性について、実践的、協働的に学ぶ研修を行うことにより、教員志望への意欲を高める。

### 2 対象（条件等）

大学、短期大学、大学院等及び高等学校に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

### 3 定員

220人

### 4 期日及び会場

区分	期日
第1日	8月22日（金）
第2日	【A班】9月10日（水） 【B班】9月12日（金）

第1日 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日 笠間市内の各市町村立小・中学校・義務教育学校、県立高等学校、県立特別支援学校

### 5 日程

期日及び時間：8月22日（金） 10時00分～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	開講式、イントロダクション
	10:30	グループワーク「教員になりたいあなたの夢を応援します」 茨城大学教職大学院生
	11:30	昼食
	12:30	講義・演習「教員の仕事の実際」 センター職員
	13:00	グループワーク「教員の魅力を語り合おう」 センター職員、教諭
	14:30	グループワーク「主体的に体験研修に参加するために」 教諭、センター職員
	15:00	第2日ガイダンス（担当職員との顔合わせ、諸連絡等） センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【A班】9月10日（水）【B班】9月12日（金） 8時～16時30分

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:00	移動 友部駅 → 各学校
	9:00	体験研修「児童生徒、教職員との交流」 笠間市内の各市町村立小・中学校・義務教育学校、県立高等学校、県立特別支援学校
		昼食（訪問する学校による）
	15:00	閉講式（各学校）
	15:40	移動 各学校 → 友部駅

### 6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

## 令和7年度 いばらき輝く教師塾Ⅱ期

## 1 目的

県内の公立学校の教員を目指している者に対し、教員として必要となる素養を高めるとともに、教育現場で実際に必要なスキルや考え方に触れ、教員になることへの意欲を高める。

## 2 対象 (条件等)

大学、短期大学及び大学院等に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

## 3 定員

240人

## 4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月28日(日)	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410 (電話：0296-78-2121)
第2日	10月26日(日)	
第3日	11月9日(日)	
第4日	11月30日(日)	

## 5 日程

期日及び時間：9月28日(日) 10時00分～15時30分 (受付開始9時30分)

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	開講式
	10:10	イントロダクション
	10:15	所長講話 教育研修センター所長
	11:10	講義・演習「教員の使命とは」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「魅力のある学級づくり」 センター職員
	14:00	ワークショップ「魅力のある学級づくり」 センター職員
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：10月26日(日) 10時00分～15時30分 (受付開始9時30分)

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「一人一人の子どもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	11:00	ワークショップ「一人一人の子どもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	12:15	昼食
	13:05	ワークショップ (午前に同じ)
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：11月9日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「学級で気になる子どもへの支援」 センター職員
	11:00	ワークショップ「学級で気になる子どもへの支援の実際」 センター職員
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「授業におけるICT活用」 センター職員
	14:10	ワークショップ「授業におけるICT活用」 センター職員
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：11月30日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第4日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「一人一人の子どもを大切にする教師の関わり」 教育相談課長
	11:00	ワークショップ「一人一人の子どもを大切にする教師の関わり」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	講義・演習「キャリア教育とは」 センター職員
	14:00	講話「教職をめざすにあたり」 センター職員
	15:00	リフレクション、諸連絡
	15:10	閉講式

## 6 携行品

昼食等（その都度連絡する）

## 8 その他の事業

### (1) 茨城大学教職大学院との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城大学教職大学院が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

### (2) 常磐大学との連携

- ・目的

教育研修センターと常磐大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

### (3) 茨城キリスト教大学との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城キリスト教大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。



## 茨城県教育研修センター

〒309-1722

茨城県笠間市平町1410

TEL : 0296-78-2121 (代表)

FAX : 0296-78-2122

URL : <https://www.center.ibk.ed.jp/>



### 各課直通

- ・企画管理課企画係…………… (0296) 78-3629
- ・教職教育課…………… (0296) 78-3212
- ・教科教育課…………… (0296) 78-3213
- ・情報教育課…………… (0296) 78-3211
- ・教育相談課…………… (0296) 78-3219
- ・特別支援教育課…………… (0296) 78-4437
- ・教育情報ネットワーク管理室…………… (0296) 78-3003